

市民生活実感調査（インターネットモニター調査）の結果について

1 調査概要

(1) 調査対象

20歳以上の市民（民間企業の登録モニター）2,100人

※ 令和7年4月1日時点の「京都市住民基本台帳人口」における人口構成比（性別・年齢・行政区）を基に割付を設定し、調査を実施

※ 回答数は2,000人を予定していたが、一部の区分で有効回答数が割付数に達しなかったため、同じ行政区内の別の年齢・性別の区分から補填を行うこととし、割付を超えて回答を集め、最終的な回答数は2,100人

※ 以下に当てはまる場合、不正モニターとして排除

- ① すべての設問が無回答（該当なし）
- ② すべての設問で同一のアルファベットを選択（29件）

（参考）回答数及び「京都市住民基本台帳人口」の住民構成比に基づく割付数

	男性			女性		
	回答数 (A)	割付数 (B)	乖離 (A-B)	回答数 (A)	割付数 (B)	乖離 (A-B)
20歳代	42	142	▲ 100	112	142	▲ 30
30歳代	130	120	+ 10	172	124	+ 48
40歳代	220	146	+ 74	207	154	+ 53
50歳代	204	172	+ 32	219	184	+ 35
60歳代	167	130	+ 37	207	140	+ 67
70歳代以上	248	222	+ 26	172	324	▲ 152
合計	1,011	932	+ 81	1,089	1,068	+ 21

※ 割付数は、行政区ごとに、性別・年齢層別の人口構成比に基づき算出しているため、市全体の人口構成比と割付数との間では若干の乖離が生じている。

※ 一部の区分で有効回答数が割付数に達しなかったため、同じ行政区内の別の年齢・性別の区分から補填を行うこととし、割付を超えて回答を集めている。

(2) 調査内容（従来の郵送調査と同じ）

ア 生活実感

「京プラン2025」に掲げた「みんなでめざす2025年の姿」に対して、今の市民生活がどうなっているかをお尋ねするため、118の設問について市民の実感を5段階で回答。

※ 設問数が多いため、2組（調査A・B）に分けて実施

- a: そう思う b: ややそう思う c: どちらとも言えない
d: あまりそう思わない e: そう思わない

イ 政策の重要度

27政策のそれぞれについて、市民が考える重要度を5段階で回答

ウ 市政への関心度

市政への関心度合いを5段階で回答

エ 幸福実感

幸福の実感度合いを5段階で回答

(3) 調査期間

令和7年4月28日～5月22日（25日間）

(4) 調査方法



(5) 調査委託会社

(株)クロスマーケティング

2 生活実感

b評価（ややそう思う）が減少し、c評価（どちらとも言えない）及びd評価（あまりそう思わない）が増加した。

各選択肢の回答率は、肯定的な回答が微減し、否定的な回答が微増した。

a そう思う	b ややそう思う	c どちらとも言えない	d あまりそう思わない	e そう思わない	計
0	20	92	6	0	118

(参考1) 令和6年度調査結果

a そう思う	b ややそう思う	c どちらとも言えない	d あまりそう思わない	e そう思わない	計
0	26	89	3	0	118

(参考2) 各選択肢の回答率

選択肢	R 7	R 6	増減 (R7-R6)
そう思う (①)	5.0%	5.3%	▲0.3pt
ややそう思う (②)	26.5%	26.8%	▲0.3pt
小計 (①+②)	31.5%	32.1%	▲0.6pt
どちらともいえない (③)	43.4%	44.4%	▲1.0pt
あまりそう思わない (④)	17.8%	16.8%	+1.0pt
そう思わない (⑤)	7.3%	6.7%	+0.6pt
小計 (④+⑤)	25.1%	23.5%	+1.6pt

○ 生活実感評価の高い政策分野順位について

27分野のうち14の分野で変動が生じているものの、最も変動の大きい分野(「市民生活の安全」)でも4ランクの変動に留まり、それほど変動幅は大きくない。

ア 3ランク以上上昇した分野

分野	順位		
	R 7	R 6	変動
生涯学習	17	20	+3

イ 3ランク以上低下した分野

分野	順位		
	R 7	R 6	変動
観光	7	4	▲3
市民生活の安全	21	17	▲4

(参考) 令和6年度調査における生活実感評価の高い政策分野順位の変動

令和6年度調査では、令和5年度調査から、27分野のうち20分野で順位の変動が生じている。

3ランク以上上昇したもの		3ランク以上低下したもの	
分野	変動	分野	変動
建築物	+3	危機管理・防災・減災	▲4
市民生活の安全	+3		

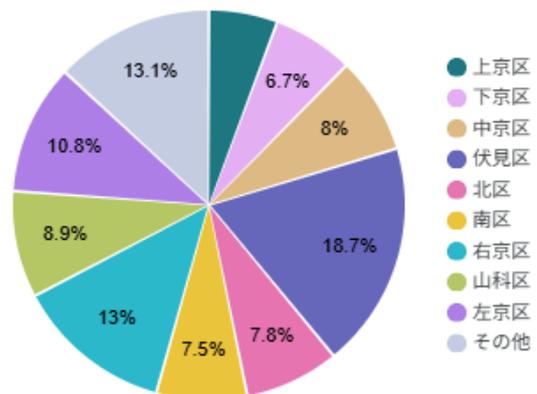
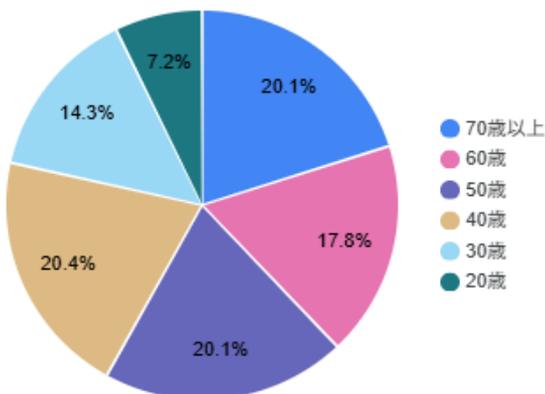
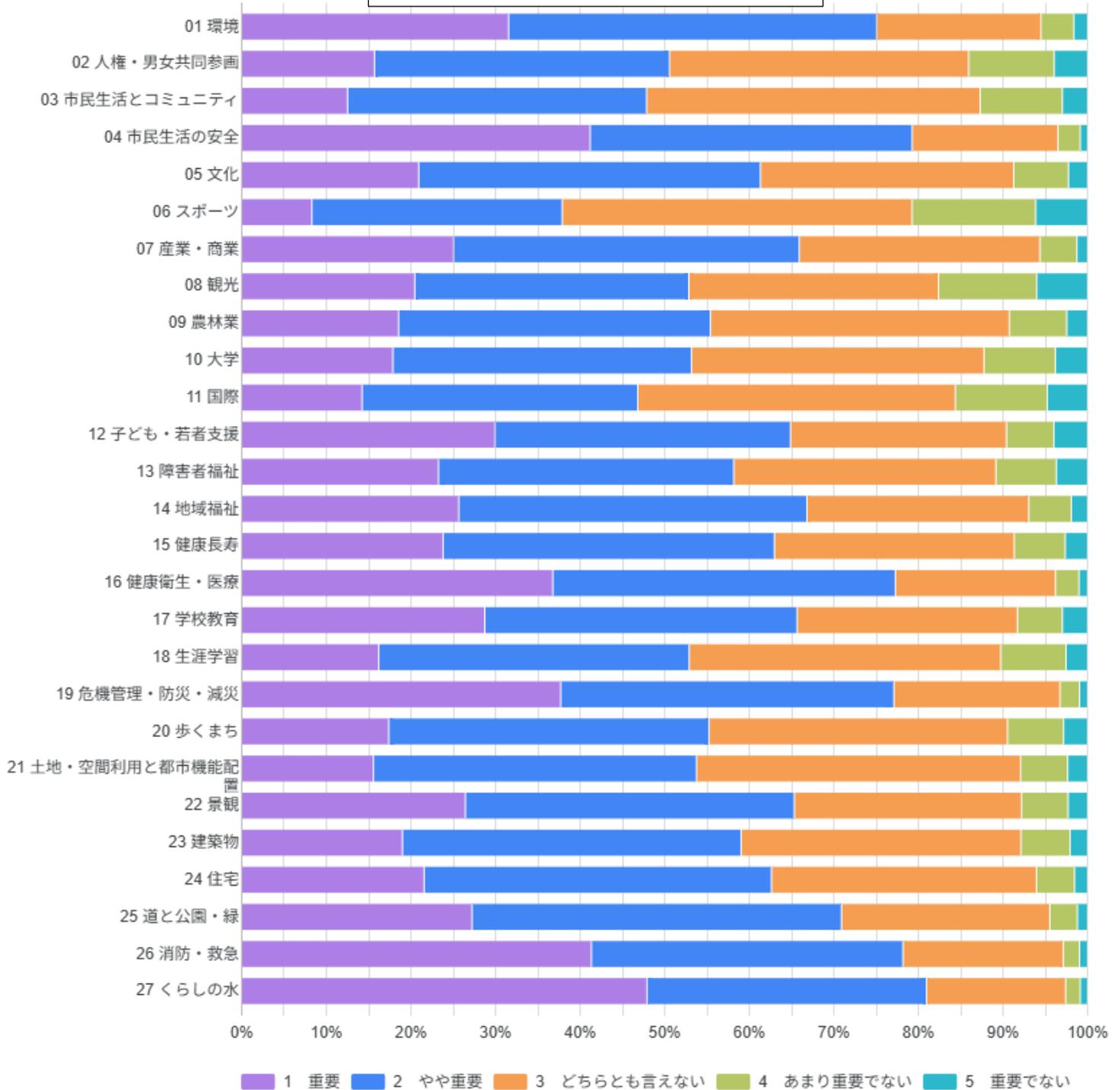
3 政策の重要度

「重要」又は「やや重要」と回答された方の割合が高い政策について、順位に変動はあったものの、5位以内の顔ぶれは変わらなかった。

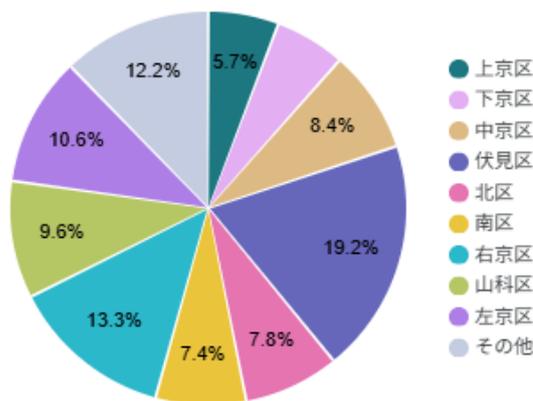
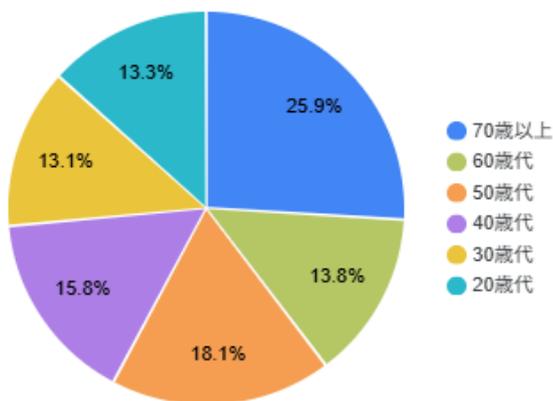
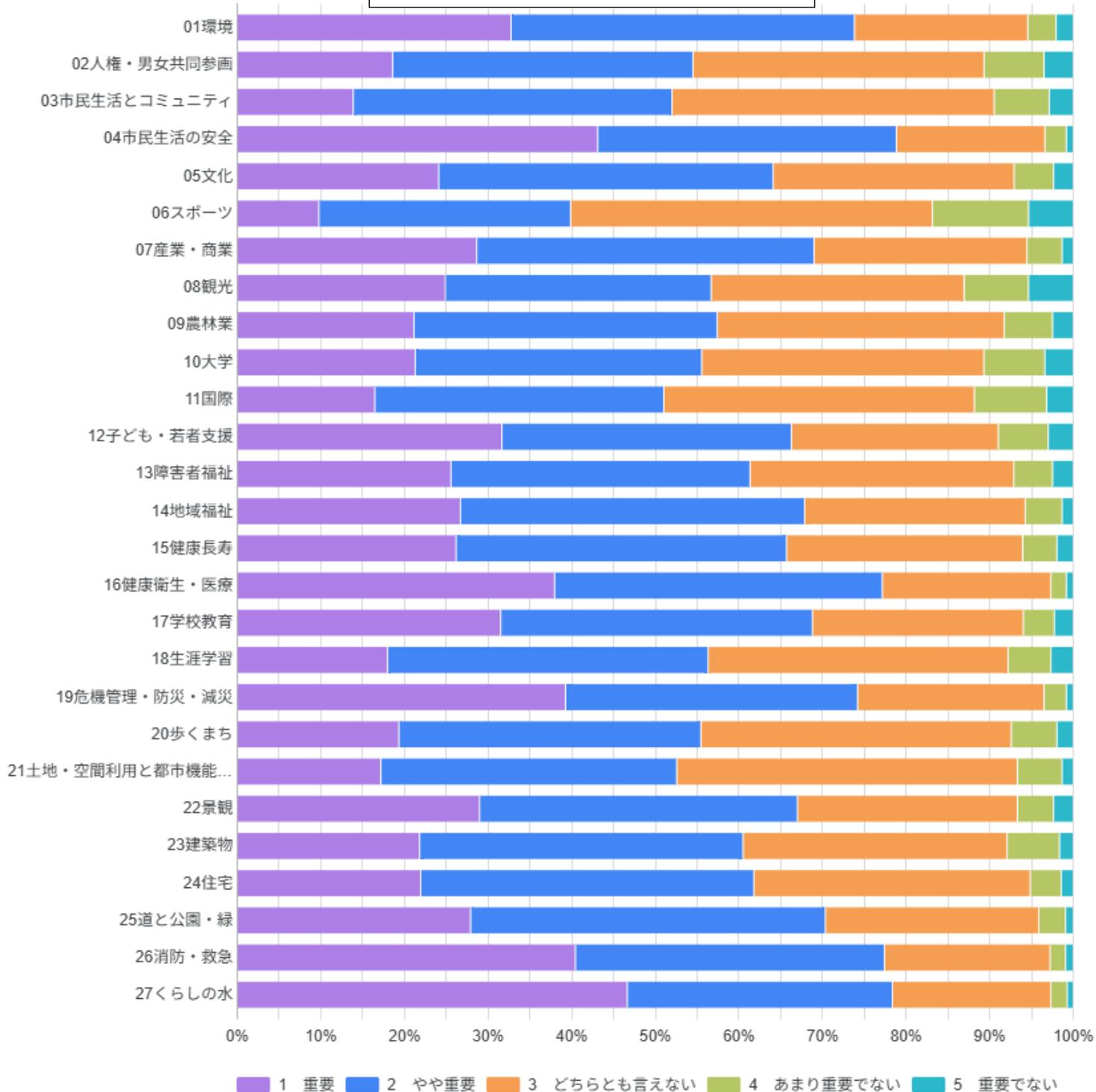
R 7		R 6	
順位	政策分野	順位	政策分野
1	くらしの水	1	市民生活の安全
2	市民生活の安全	2	くらしの水
3	消防・救急	3	消防・救急
4	保健衛生・医療	4	保健衛生・医療
5	危機管理・防災・減災	5	危機管理・防災・減災

年度

R7市民生活実感調査の政策重要度



R6 市民生活実感調査の政策重要度



4 市政への関心度

「そう思う」または「ややそう思う」と回答された方の割合は、令和6年度から5.0%減少している。

選択肢	R7	R6	増減 (R7-R6)	R5
そう思う (①)	14.5%	17.6%	▲3.1pt	17.2%
ややそう思う (②)	34.8%	36.7%	▲1.9pt	36.0%
小計 (①+②)	49.3%	54.3%	▲5.0pt	53.2%
どちらとも言えない (③)	25.9%	21.9%	+4.0pt	21.4%
あまりそう思わない (④)	17.0%	15.7%	+1.3pt	15.9%
そう思わない (⑤)	7.8%	8.1%	▲0.3pt	9.4%
小計 (④+⑤)	24.8%	23.8%	+1.0pt	25.3%
無回答	0%	0%	0.0pt	0.1%

(参考) 過年度の回答状況

選択肢	R4	R3	R1	H30	H29	H28	H27
関心がある (①)	17.3%	27.0%	32.9%	29.1%	31.1%	32.9%	35.0%
少しは関心がある (②)	38.5%	34.1%	47.1%	47.6%	50.6%	48.5%	44.8%
小計 (①+②)	55.8%	61.1%	80.0%	76.7%	81.7%	81.4%	79.8%
あまり関心がない (③)	20.5%	23.1%	11.0%	13.1%	11.1%	11.5%	8.9%
まったく関心がない (④)	16.5%	10.1%	1.2%	1.7%	1.1%	1.3%	0.9%
小計 (③+④)	7.1%	4.1%	12.2%	14.8%	12.2%	12.8%	9.8%
わからない	23.6%	14.2%	3.9%	4.0%	4.3%	3.2%	2.6%
無回答	0%	1.6%	3.9%	4.5%	1.8%	2.6%	7.8%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、調査を実施していない。

※令和3年度調査以降、選択肢を変更した。

※令和4年度調査以降、調査方法を従来の住民票無作為抽出による郵送調査からインターネットモニター調査に変更した。

5 幸福実感

「そう思う」または「ややそう思う」と回答された方の割合は、令和6年度から3.3%減少している。

	R7	R6	増減 (R7-R6)	R5
そう思う (①)	15.8%	17.4%	▲1.6pt	16.1%
ややそう思う (②)	39.3%	41.0%	▲1.7pt	39.2%
小計 (①+②)	55.1%	58.4%	▲3.3pt	55.3%
どちらとも言えない	22.7%	21.0%	+1.7pt	25.6%
あまりそう思わない (③)	12.6%	11.5%	+1.1pt	10.5%
そう思わない (④)	9.6%	8.9%	+0.7pt	8.5%
小計 (③+④)	22.2%	20.4%	+1.8pt	19.0%
無回答	0.0%	0.2%	▲0.2pt	0.1%

(参考) 過年度の回答状況

	R4	R3	R1	H30	H29	H28	H27
とても幸せだと思う (①)	18.0%	28.8%	15.9%	16.9%	17.9%	16.2%	19.6%
どちらかという幸せだと思う (②)	39.0%	39.1%	58.0%	57.7%	58.5%	60.9%	54.4%
小計 (①+②)	57.0%	67.9%	73.9%	74.6%	76.4%	77.1%	74.0%
どちらとも言えない	24.0%	18.0%	15.1%	16.6%	16.1%	16.4%	14.9%
どちらかという幸せではないと思う (③)	12.3%	8.3%	5.4%	4.4%	5.1%	3.7%	4.8%
不幸せだと思う (④)	6.5%	4.1%	1.2%	0.9%	0.7%	0.9%	1.2%
小計 (③+④)	18.8%	12.4%	6.6%	5.3%	5.8%	4.6%	6.0%
無回答	0.1%	1.7%	4.4%	3.5%	1.7%	1.9%	5.2%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、調査を実施していない。

※令和3年度調査以降、選択肢を変更した。

※令和4年度調査以降、調査方法を従来の住民票無作為抽出による郵送調査からインターネットモニター調査に変更した。

6 自由記述

調査対象数の増加に伴い回答数は増加し、回答率は前年同程度となった。

	R 7	R 6	増減 (R7-R6)
回答数	1,413	678	+735
回答率	67.3%	69.5%	▲2.2pt

(参考) 主な意見

自由記述意見	件数
観光に関する意見	496件
交通に関する意見	194件
税に関する意見	104件
子育てに関する意見	88件
京都市財政に関する意見	44件
道路に関する意見	35件
寺社に関する意見	25件